【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公開番号】特開2009-36093(P2009-36093A)
【公開日】平成21年2月19日(2009.2.19)
【年通号数】公開・登録公報2009-007
【出願番号】特願2007-201071(P2007-201071)
【国際特許分類】
Ｆ０２Ｍ　69/04　　(2006.01)
Ｆ０２Ｍ　61/14　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０２Ｍ　69/04　　Ｒ
Ｆ０２Ｍ　61/14　　３１０Ｚ
Ｆ０２Ｍ　69/04　　Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成22年4月7日(2010.4.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
請求項３記載の発明によれば、クランクシャフトの軸線方向でチェーン通路と反対側でシリンダヘッドに燃料噴射弁が取付けられるので、シリンダヘッドへの燃料噴射弁の取付け座の加工を簡略化することができ、しかも燃料噴射弁を吸気通路に対してオフセットして配置するので燃料噴射弁を含むシリンダヘッド全体をコンパクト化することができ、燃料噴射弁のメンテナンスも容易となる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４２】
図６を併せて参照して、前記クランクシャフト３１の軸線に沿う一端側でエンジン本体２１のシリンダブロック２５およびシリンダヘッド２９には、カムチェーン９０を走行可能に収容するチェーン通路９１が設けられるのであるが、クランクシャフト３１の軸線に沿う他端側でシリンダヘッド２９には、前記燃料噴射弁１０７を取り付けるための弁取付け孔１０８がその先端を吸気ポート７６に開口させるようにして設けられ、しかも吸気ポート７６の中心線を含んでシリンダ軸線Ｃ１と平行な平面への投影図（図５）上で前記弁取付け孔１０８の先端開口部の全体が吸気ポート７６内に配置される。